











【請願②】

議案番号	件名	議決日	議決結果	自由民主党 (18人)														公明党 (4人)				社会民主党 議員会 (3人)			日本 共産党 (2人)		会派 誠政 (2人)		光 (2人)		日 本 維 新 の 会 (1人)	フ ォ ー ム 3 8 (1人)	創 政 改 拓 (1人)	自 民 ク ラ ブ (1人)	不 議 (1人)	卯 月 (1人)				
				久保 大憲	松井 邦人	金谷 幸則	泉 英之	竹田 勝	舎川 智也 (議長)	押田 大祐	江西 照康	高田 真里	高道 秋彦	成田 光雄	横野 昭	金厚 有豊	鋪田 博紀	高田 重信	村家 博	有澤 守	柞山 数男	松尾 茂	松井 桂将	佐藤 則寿	堀江 かず代	岡部 享	東 篤	村石 篤	小西 直樹	赤星 ゆかり	尾上 一彦	橋本 雅雄	上野 蛍	島 隆之	金井 毅俊	大島 満	木下 章広	村上 和久	五本 幸正	高見 隆夫
令和元年分 請願第9号	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現をめざす意見書の採択を求める請願  (請願第9号討論要旨/日本共産党 小西議員) 「100年安心年金」と言っていたが6月に出された金融審議会の報告書で老後に公的年金以外に2千万円必要だと述べ、国民の年金への不安、困惑、怒りが積もりに積もっている。 年金の伸びを物価上昇分より低く抑える「マクロ経済スライド」で、年金はどんどん削られ、41歳以下では老後の不足額は3、600万円の計算になる。その上、消費税の10%、医療費・介護保険料の値上げ等で国民のくらしはますます厳しくなっている。 年金の削減は地域経済にも影響する。 いま必要なのは、負い年金制度を抜本的に見直すことだ。 高額所得者の保険料見直し等で保険料収入を約1兆円増やし、年金積立金200兆円の活用等でマクロ経済スライドの廃止は可能だ。 年金の毎月払い、最低年金制度の実現で「若者も高齢者も安心の年金制度」を実現しよう。	12/24	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
令和元年分 請願第10号	75歳以上の医療費窓口負担を原則2割に反対する意見書の採択を求める請願  (請願第10号討論要旨/日本共産党 小西議員) 安倍首相が議長の「全世代型社会保障検討会議」は75歳以上の後期高齢者医療費の窓口負担を、一定の所得の人は2022年から2割に引き上げ方針を中間報告した。 医療費の自己負担は70歳未満が3割、70～74歳が2割、75歳以上が1割、現役並み所得(年収383万円以上)は3割負担だ。 負担引き上げの対象は75歳に達する人のみならず、すでに75歳以上の人も含める案が浮上している。 高齢者は医療費がかさむから、自分達で負担せよとの発想だ。 後期高齢者医療制度は国の財政負担を削る「医療構造改革」として始まり、75歳の高齢者が現在1、700万人が入っている。 保険料の引き上げや消費税10%、年金引下げで、暮らしは圧迫されている。 2割負担になれば、経済的理由で、必要な医療を受けなくなり、高齢者の健康と命を脅かす事になる。	12/24	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	

